

博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	秋田大学	申請大学長名	吉村 昇
申請類型	オンリーワン型	プログラム責任者名	小川 信明
整理番号	001	プログラムコーディネーター名	柴山 敦
プログラム名	レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成プログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

【プログラムの目的】

本プログラムは、資源の専門性と応用力、実践力を修得したグローバルリーダーの育成を目的とし、近年勃発したレアアース問題や資源の偏在性、生産環境の悪化といった21世紀の資源開発が抱える課題に俯瞰力をもって挑める人材、すなわち資源分野を牽引する総合力と専門知識を備え、英語力、異文化理解力を含めた国際的視野と独創性豊かな考察力、課題解決力、資源リテラシー、政策立案能力等を身に付けた「資源ニューフロンティアリーダー」を養成する。

【大学の改革構想】

秋田大学では、資源学教育の重点化と教育研究プログラムの強化を行い、我が国を代表する資源学教育研究拠点を形成している。国際的な活動では大学院の英語コース化や海外協定校からの積極的な留学生確保を推進しているほか、平成26年度の「国際資源学部」新設に向け本格的な準備を進めるなど、リーディング大学院と直結する教育研究基盤を構築している。これら資源学教育に関する戦略的な取組は、「資源分野におけるナショナルセンター機能を強化し、世界で活躍するグローバル人材を、実践力・応用力・英語力を兼ね備えて育成する」ことを主旨とした秋田大学の改革構想を具現化したものと言える。

2. プログラムの進捗状況

秋田大学大学院工学資源学研究科内に「資源ニューフロンティア特別教育コース」を開設し、統括会議、運営委員会、外部評価委員会、プログラム評価委員会、プログラム事務局をはじめとする組織・運営体制を構築したほか、プログラム実施細則、会議・委員会実施要項等の関係規程等を整備した。また、プログラム専門・共通47科目を新設したのに加え、入試方針を確立し、履修案内・修了要件・講義シラバス・募集要項、奨励金取扱要項等の日本語・英語版を作成した。平成24年12月には、コース編入を希望する大学院博士前期課程生を対象に先行選抜（編入）試験を実施し、3名のコース学生を誕生させた。平成25年1月からは、ラボローテーションなど一部の演習科目を実施したほか、パプアニューギニアでの短期海外フィールドワークなどの活動を開始した。その他、インドネシア、チリ、カナダ等からの著名研究者を招聘し特別講義を5件実施したほか、ニュースレターの発行やホームページの開設、本プログラムの採択記念特別シンポジウムを開催するなど広報活動を行った。海外活動では、コース生獲得の一環として連携大学を訪問し、本プログラムのプロモーションを行ったほか、サマーキャンプや国際シンポジウムなどの準備を進めている。